

### 【授業のねらい】

- 1学年全クラス合同でブレインストーミングを実施
- テーマ:「市総合計画に向けての意見～市連携 市の課題についてまとめ～」  
目標:市の強みと課題を考え、地域活性につながるアイデアにつなげる  
対象:1学年全クラス

### 【ICT活用法】

使用機材 : 教員用PC、プロジェクター、生徒用PC

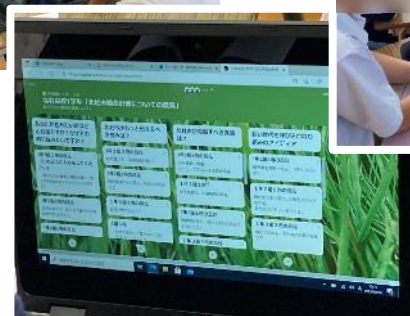
使用アプリ: Padlet、Edge

### 【実施手順】

- ① 保管庫を教室の廊下に設置
- ② 生徒は、保管庫に生徒用PCを取りに行く
- ③ 生徒用PCを立ち上げ、M365生徒用アカウントでログイン
- ④ 教員は、Teamsの1学年チームにPadletのURLリンクを投稿  
→Teamsの挙動が不安定な事象が、連日起きていたため、アプリを使用せず、EdgeでTeamsを立ち上げることを推奨
- ⑤ 生徒は、Teamsに投稿されたURLリンクをクリックし、Padletを開く  
→生徒用PCは、システム設定にある既存のブラウザがEdgeであるため、Edgeを使用
- ⑥ 生徒は付箋を貼る要領で、Padletに随時意見を入力
- ⑦ お互いの意見を参照しつつ、「いいね!」をクリックし合う
- ⑧ 生徒はPCの電源をOFFにして、保管庫に収納する

### 【効果】

1. Padletは、生徒が一斉に入力可能なアプリケーションであるため、お互いの意見が即座に反映され共有することができます。
2. いいね!機能を使用して、お互い評価し合うことができます。
3. Padletのエクスポート機能を利用して、ExcelやPDFでブレインストーミングの内容が管理できます。
4. ペーパーレスが実現できます。
5. クラスを超えて、学年でリモートブレインストーミングが実現できます。



## ◆ 【総合的な探求の時間】 Teams(Class Notebook)を使用した授業

### 【授業のねらい】

- 生徒が、自分で調べた進路情報を即座にデータに入力することができる環境を構築
- 教員が、入力された生徒のClass Notebookを確認・評価できる環境を構築

### 【ICT活用法】

使用機材：教員用PC、プロジェクター、生徒用PC

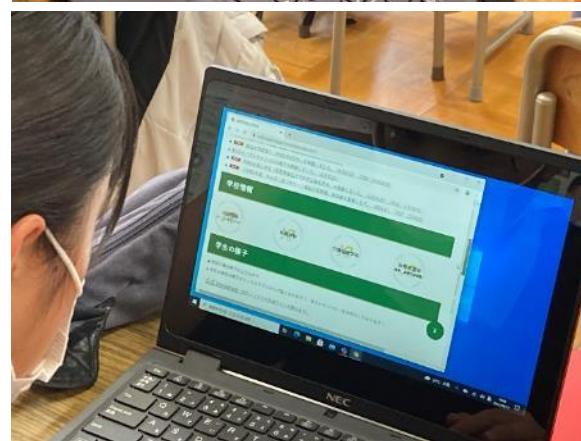
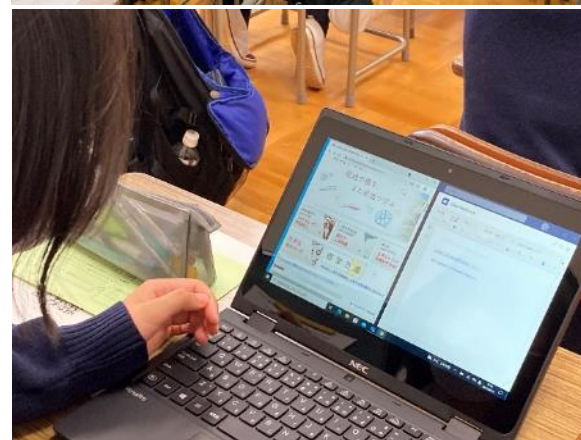
使用アプリ：Teams、Chrome

### 【実施手順】

- ① 教員は、予めClass Notebookの生徒スペースに進路調査セクションを作成
- ② 保管庫を教室の廊下に設置
- ③ 生徒は、保管庫に生徒用PCを取りに行く
- ④ 生徒用PCの電源の付け方、ログインの仕方を講義
- ⑤ 生徒用PCから、Class Notebookの生徒スペースの進路調査セクションに調べ学習したテキストや、リンクの挿入の仕方を講義
- ⑥ 生徒は、調べ学習を行いながら、ClassNoteBookへ入力  
→画面上にChromeとTeamsを両方並べて開く方法を講義
- ⑦ 生徒用PCの電源の落とし方、電源OFFの仕方を講義

### 【効果】

1. 生徒は、Class Notebookのリンクの挿入やテキスト入力をスムーズに実行することができました。
2. 教員が生徒のClass Notebookを時間のある時に確認・評価できる環境を構築することができました。



【授業のねらい】

1学年合同授業において、RESASやその他Webサイトを利用し、北杜市における探求協働学習に臨む

【ICT活用法】

使用機材：教員用PC、生徒用PC、プロジェクター

使用アプリ：Teams、RESAS、ブラウザ（Edge・Chrome）

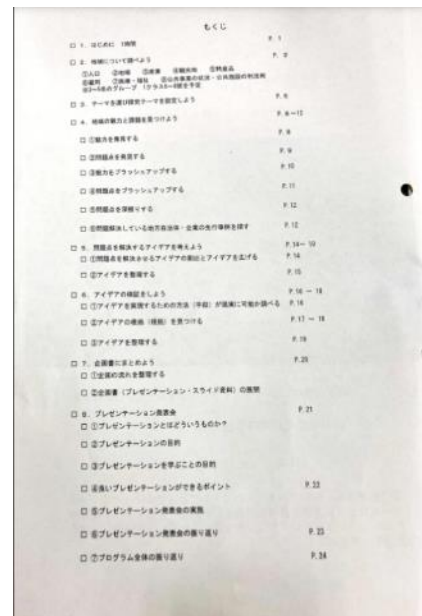
【実施手順】

- ① 班を作り、RESASを利用して北杜市の情報を収集
- ② RESAS以外の情報もブラウザを使用して検索
- ③ Teamsファイルタブに予め教員が班ごとに調べた結果を入力できるように、データフォーマットを用意
- ④ RESASに表示されたデータやグラフをスクリーンショットで切り取り、Wordデータに添付
- ⑤ 各班の代表が、調べた結果を発表

【効果】

1. 政府が公開しているビッグデータから、必要な情報を収集できました。
2. データからなるエビデンスを元に、班のメンバーで意見を出し合い、情報をまとめることができました。
3. RESAS for schoolから、授業に使用できる教材が利用できました。
4. 班で話し合った内容を、最終的にTeamsのファイルタブに存在するデータに入力できたことで、他の班の考えを共有する環境が構築できました。

RESASは、政府が提供しているビッグデータをグラフなどを利用した統計情報として見える化したWebアプリケーションです。政府は、授業活用としても利用を推奨しており、地方が抱えている問題の気づきに役立てようとしている狙いもあります。活用方法としては、RESASを北杜市が抱える問題提起としてのエビデンス収集として活用し、より詳細な情報を掘り下げば、市が提供しているサイトや、その他のサイトを利用して調べる方法を取り入れています。多角的に、そして情報を掘りさげて調査するすべを生徒達にスキルとして身に付けさせる狙いが授業に含まれています。



### 【授業のねらい】

- 修学旅行先について調べる中で、自分の研究課題を考える
- 検索キーワードでの確かなものを探ることができるようになる
- 端的にまとめる力をつける

### 【ICT活用法】

使用機材：生徒用PC

使用アプリ：Teams、Google、PDF、Word、PowerPoint

### 【実施手順】

- ① 修学旅行先のテーマを設定する
- ② 3人1台端末を使って1枚レポート（PDF/Word/PowerPoint）を作成する
- ③ 作成したレポートをTeams上に提出する

### 【効果】

1. 修学旅行先で前知識があるので、より深い学びを得られます。
2. 多くの情報を整理して紙一枚にまとめる力を向上させることができます。

データ化された課題提出ができるので、チェック（未提出者）等がスムーズになると感じました。

生徒用PCを活用して、生徒たちは自主的に、かつ集中して取り組んでいました。

